

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	音楽振興事業				担当部	教育委員会事務局				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般事業		担当課	文化振興課			
	事業期間	平成14年度		～	平成31年度以降		担当係	文化振興係			
	総合計画 新基本計画	施策等	4 教育文化		15 文化振興		1 市民が文化芸術に親しめる機会を充実します				
			重点事業		実施計画事業	○					
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン									
	目的	何・誰を対象に	生の音楽に触れたことのない市民、また触れる機会の少ない市民								
		どの様な状態にするのか	音楽講座等を通して、音楽の歴史・時代背景・地域性・楽器等について学ぶことにより、市民の音楽への関心を高めるとともに、音楽鑑賞の幅を広げ音楽愛好者の拡大を図る。								
	内容(手段) 目的達成のため どのような事業 を実施したか	<p>◆27年度実施内容・直接経費の内訳</p> <p>○音楽鑑賞講座(委託料:1,100千円) 名古屋芸術大学と連携して、プロ奏者による生演奏と名古屋芸術大学教授によるレクチャー形式による3回の講座を実施し、幅広いジャンルの音楽をあらゆる角度から解説を交えながら演奏を楽しむ内容とした。</p> <p>○サンデーコンサート、ふれあい音楽広場等(講師謝礼、印刷製本費、役務費:1,383千円) 市民団体(ポルタメント小牧)との協働により各市民センターで年5回のサンデーコンサートと1回のモーニングコンサートを実施した。毎月第1日曜日の昼に味噌市民センターロビーを利用したふれあい音楽広場を実施した。職員は、出演者との日程、曲目、演奏順等を調整するとともに機材の配置、転換、照明、音響等について舞台技術者と調整、チラシ作成、事前PR、プログラム作成、コンサート当日の運営を実施。</p> <p>○オーケストラ演奏鑑賞事業(委託料:26,669千円) 小学校8校、中学校3校に対してプロのオーケストラによるコンサートを学校に出向いて行い、児童生徒がクラシック音楽を身近に感じ音楽への関心を高めた。職員は、学校からの日程・演奏曲目等の要望をとりまとめ、中部フィルと演奏会に向けて調整し、プログラムの印刷を行った。また市内全幼稚園・保育園(幼稚園11園、保育園20園)を対象に中部フィルハーモニー交響楽団によるアンサンブル演奏を提供し、子どもたちが音楽への関心を持つきっかけを作る機会を提供した。</p> <p>○小牧市制60周年記念事業 第九演奏会開催委託事業(委託料5,809千円) 小牧市制60周年記念事業として、音楽連盟との共催にて平成27年5月10日に記念演奏会を開催した。一般公募の合唱参加者198名が合唱に参加し、当日の来場者数1,029名であった。</p> <p>○音楽指導(委託料:6,702千円) 市内小中学校・高等学校の依頼により、中部フィルハーモニー交響楽団の楽団員・指揮者・アンサンブルを各学校に派遣し技術指導及び音楽授業等への支援を実施した。児童・生徒はプロ奏者の演奏に接することで、楽器を演奏することへの興味・関心を高められた。また音楽授業等で生演奏を実施することは独自の取り組みであった。職員は、学校からの指導者派遣依頼日程等の要望をとりまとめ中部フィルハーモニー交響楽団と調整した。</p> <p>○消耗品費(36千円) ○中部フィルハーモニー交響楽団支援委員会費(負担金:3,000千円) ○中部フィルハーモニー交響楽団創立15周年記念事業費補助金(負担金:300千円)</p> <p>◆28年度実施内容・直接経費の内訳</p> <p>・音楽鑑賞講座(委託料:1,100千円) ・サンデーコンサート等(講師謝礼、印刷製本費、役務費:1,843千円) ・オーケストラ演奏鑑賞事業(委託料:26,873千円) ・音楽指導(委託料:6,400千円) ・消耗品費等(40千円) ・中部フィルハーモニー交響楽団支援委員会費(負担金:3,000千円)</p>									
受益者負担	有	音楽鑑賞講座:全3回講座受講大人:1,540円、小中学生:770円、1回のみ受講 大人:1,030円、小中学生:510円 計452,030円									

		単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額	
コスト	直接経費	千円	40,638	42,363	44,999	39,256	
	費用	正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20
		人件費	千円	1,100	1,100	1,100	1,100
	その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00
		人件費	千円	2,163	2,213	2,261	2,334
	費用合計	千円	43,901	45,676	48,360	42,690	
対前年比	%			104.0	105.8	88.2	
財源	一般財源	千円	42,825	45,031	47,908	42,162	
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	
	その他財源	千円	1,076	645	452	528	

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	音楽鑑賞講座	回	目標		8	6	3
実績				8	6	3	
音楽指導申込学校数	校	目標		—	—	—	—
		実績		20	22	22	
派遣楽団員・指揮者数	人	目標		—	—	—	—
		実績		413	442	402	
績	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	音楽鑑賞講座受講者数	人	目標		300	300	250
実績				290	278	242	
サンデーコンサート来場者数	人	目標		1,200	1,300	1,200	1,200
		実績		1,140	1,299	1,446	

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	音楽鑑賞講座受講者数は目標を達成できず、下降気味である。プロ音楽家による生演奏と大学教授によるレクチャーを受講できるのは、貴重な体験である。サンデーコンサートは来場者数を伸ばすために、多様なプログラムを企画し実施した。またポルタメント小牧の会員で集客のPRしており、来場者数の目標を達成できた。オーケストラ鑑賞事業は中部フィルハーモニー交響楽団が本拠を置く、小牧市の文化事業の特徴のひとつであり、初めて音楽に接する子どもへの情操を育む貴重な機会となっている。また部活動や音楽授業における音楽指導事業によって、小中学校高校の技術レベルの向上がはかれるのみでなく、自分の楽器への興味・関心をより深める機会となっている。				
	事業実施における課題	音楽鑑賞講座においては、プログラムや集客PRのあり方を見直し、今後は日常生活において、音楽にふれる機会の少ない市民や世代を、どのように取り込んでいくかが課題である。音楽指導は学校の希望する日程と楽器が学校間で重複するため、調整が困難であるが、協力や理解を得ながら、中部フィル及び学校担当者と3者で連携して、子どもたちの希望をかなえられるよう事業を進める。また、オーケストラ演奏鑑賞事業のプログラムがマンネリと成らないため、演奏プログラムについて検討する必要がある。					
	基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	音楽の歴史や時代背景等を学ぶ機会を提供することで、市民の文化・芸術への関心を高めることに寄与している。また中部フィルハーモニー交響楽団の子ども向け事業は、子どもたちが生の音楽に触れる機会を提供しており、音楽への興味関心を芽生えさせるきっかけ作りにも寄与している。					
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	音楽指導事業について、需要・他事業との整理を行い、指揮者派遣・アンサンブルについては廃止し、中部フィル団員の派遣による技術指導に集中することとした。オーケストラ鑑賞事業については、著名な指揮者と歌手を招聘し、子どもたちの興味・関心を引く内容に改善し実施を予定している。				
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	音楽鑑賞講座は受講生が音楽の魅力を理解し知識を蓄え継続的に音楽に触れられる体制を推進する必要がある。サンデーコンサートは引き続き市と団体との協働によりコンサート内容を改善しながら集客に努め実施していくことが望ましい。オーケストラ鑑賞事業及び音楽指導は、中部フィルが小牧市に本拠を置くからこそ可能な小牧市独自の事業であるため、引き続き事業を進める必要がある。					
	29年度以降の改善案	音楽鑑賞講座について、講座内容や実施方法の検討、集客方法の工夫を行い、将来的には美術分野など、各分野の垣根を越えるような講座の企画が可能となるか検討を行う。オーケストラ鑑賞事業については平成28年度の実施結果を踏まえ、学校等の意見を取り入れながら工夫あるプログラムになるよう検討していく。音楽指導については、可能な限り学校の希望を反映させるように、効果的に事業を進める必要があり、実施方法を抜本的に検討する。また指導結果が出るような目標を定められないか検討を行う。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	引き続き事業を継続しながらも、新たに設立する文化財団での実施にあたり、費用に対して参加者数や事業目的に対する成果は十分か、参加者が固定化している事業になっていないか、受益者負担は適正か等これまでの事業内容についてより詳細に検証し、事業目的の達成に向けて効果の低い小事業については、廃止を含めて見直すなど事業の取捨選択に向けた検討を行うこと。また、本事業の講座については、小牧市講座改革検討結果報告書を基に改善に取り組むこと。